

TOHOKU SHOTEN LIMITED 資源を無限に変えるチカラ。TOHOKU SHOTEN LIMITED

東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

**被覆線・雑品
非鉄金属買取**

貿易業

東北商店株式会社
日本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL:06-6683-8828

□南港事業所
TEL:06-6613-8838

□千葉支店
TEL:0436-76-7277

□名古屋支店
TEL:0567-94-5688

グループ会社
東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL:079-271-5025
www.tohoku-ent.com

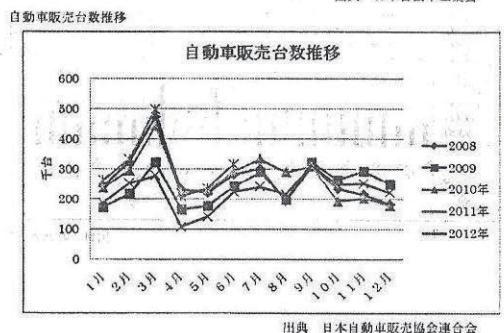
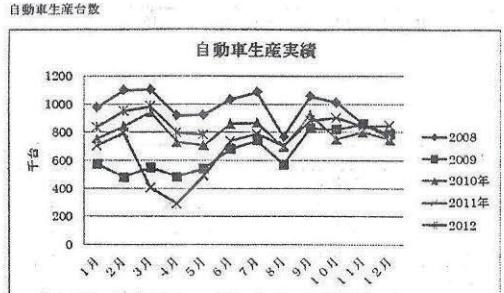
日刊メタルレポート

◆自動車生産台数

	3月	4月	5月
生産台数	98万4567台	79万9474台	78万1340台
前月比	+3.4%	-18.8%	-2.3%
年同比	+243.7%	+173.8%	+59.5%

◆自動車販売台数

	4月	5月	6月
販売台数	20万8977台	23万6366台	31万7152台
前月比	-58%	+13.1%	+34.2%
年同比	+92%	+66.3%	+40.9%



発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836
購読料 半カ月44,100円(前納) 3カ月22,050円

自動車生産、販売とも堅調

・アルミニウム橋本健一郎氏リポート①

【概況】六月前半は欧州懸念への対策として欧州財務相会談でスペインに対して最大一〇〇億ユーロの貸し出しを決定するなどのプラス材料があつたが、米雇用統計の非農業雇用者指数が予測の一五万人から六・九万人と大きく減少したことや、米ムーティーズがスペイン債の格下げを行うなどファンダメンタルズの悪化を嫌気し下落、七、三七六ドル(セツル)と約一四〇ドル下落しての前半締めとなつた。

後半はギリシャ再選挙で再建派が勝利したものの、EU会合に向けて独メルケル首相がECB共同債発行へ改めて否定をしたこと、FOMCで一二年の米GDP予測が〇・五%引き下げられたこと、独ZEW指数がマイナス六・九%と予測の二・三%増を大きく下回った事から二〇〇ドル程度下げる場面はあつたが、欧州会合で欧州安定メカニズム(ESM)から枠内の銀行へ直接資本注入できる仕組みに合意したとの報を好感し急騰、七月二日現在前半から八〇ドル上昇し七、六〇五ドル、建値六六万円のスタートとなつた。

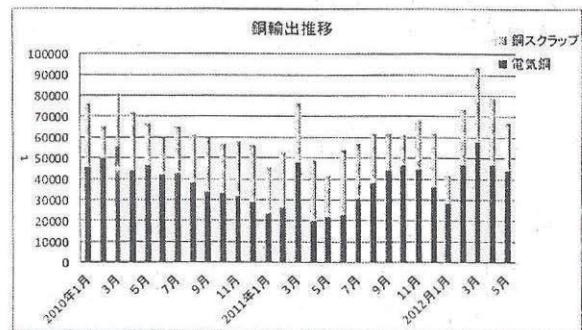
【前月の経済指標】

◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比二・三%減の七八万台、三四〇台であつた。

◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比三四・二%増の三一万台、一五二台(前年比四〇・九%増)。(二面へ続く)

新設住宅着工戸数は上向く

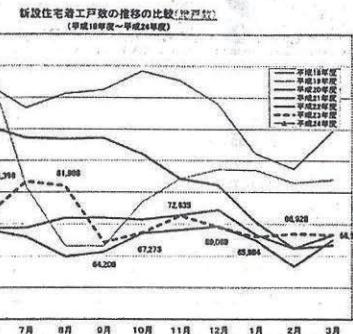
輸出	3月	4月	5月
電気銅	5万7724t	4万6807t	4万3866t
前月比	+22.7%	-18.9%	-6.3%
スクラップ	3万5946t	3万2009t	2万2997t
前月比	+35.8%	-11%	-28.2%
輸出推移			



◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が六・三%減の四万三、八六六t、スクラップが二八・二%減の二万一、九九七t。

新設住宅着工戸数	3月	4月	5月
新設住宅着工戸数	6万6597戸	7万3647戸	6万9638戸
季節調整 前月比	-7.6%	+5.7%	+0.8%
昨年対比	+5%	+10.3%	+9.3%

新設住宅着工件数推移



◆新設住宅着工戸数
国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)〇・八%増(昨年比九・三%増)の六万九、六三八戸であつた。

(一面より続く)

輸出電気銅、スクラップとも減少 輸入は電気銅が一ケタ台の急減

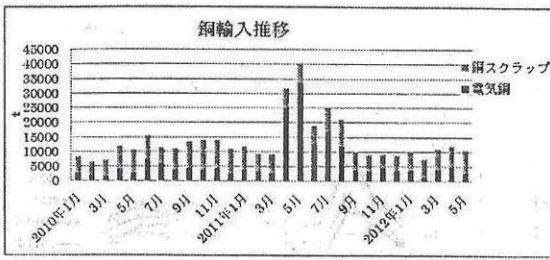
輸入は電気銅が前月比四五・二%減の一、

七二一t、スクラップ一一・五%増の七、八〇t。

輸入	3月	4月	5月
電気銅	3810t	4969t	2721t
前月比	+200%	+30.4%	-45.2%

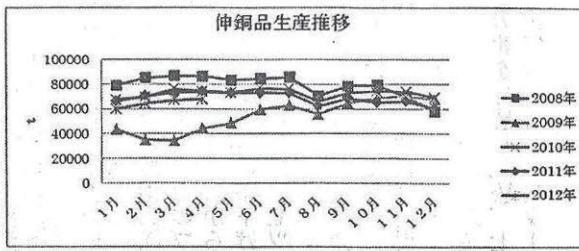
スクラップ 前月比 +13.1%

輸入推移



出典 財務省 貿易統計

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前月比六・一%減の五万二、六〇〇tであつた(昨年対比五・九%増)。(六面に続く)



出典 日本伸銅協会

【前月の国内指標】
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比三・七%減の六万五、三三〇t(昨年対比一〇・二%減)。

〔二面より続く〕

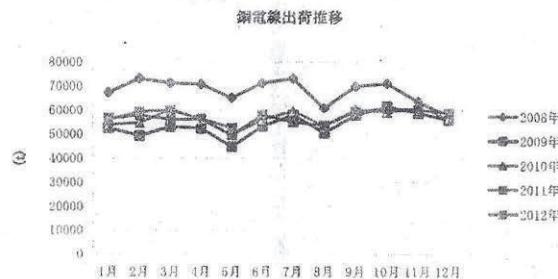
電気銅の国内需要は低位安定か

LME価格 七千九百ドルの予測

五%増の七、八六〇t。

銅需給に関しては、先月も、自動車関連の本格的な需要が継続、販売面でも自動車が前年比四〇・九%増と大幅回復。

また住宅着工数は九・三%増(前年比)と大幅増加しており今後も期待。ただその他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては一二カ月連続前年割れの一〇・二%減。



出典 日本電線工業会

【見通し】

先月の自動車関連は絶好調、住宅関連も底入れが感じられ、七月二日現在欧州懸念も欧洲金融安定メカニズム(ESM)から民間への直接投資が合意されて一旦は安定した。

自動車生産は前年比六〇%増の七八八万台、三四〇台と一〇カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。

また国内自動車販売台数も三二万台、一五二台で前年比四〇・九%増と急上昇。

自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比三・七%減の六万五、三二〇tで、昨年対比一〇・二%減とまたまた前年割れ。

銅電線出荷量は、前月比六・一%減の五万台に。

新設住宅着工数は季節調整済みで前月比〇・八%増の六万九、六三八戸、前年比は九・三%増と大幅回復。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比六・三%減の四万三、八六六tと二カ月連続の減少。

銅スクラップは二八・二%減の二万二、九九七tと、こちらは二桁減少した。

輸入は政治不安による内需の減少や欧州懸念による輸出の減少を受け、電気銅が四五・二%減の二、七二一t、スクラップは一一・〇〇万の大台を回復した。

六月の米新車販売 五年ぶりの高水準

景気減速の影響軽微 調査会社

米調査会社オートデータが三日発表した六月の米新車販売台数は、前年同月比二二・一%増の一九八万台、五五万台だった。一三カ月連続のプラスで、六月としては二〇〇七年以来、五年ぶりの高水準。米国では欧州債務危機の影響で景気減速が鮮明となつていてが、新車市場は、ガソリン価格の落ち着きや自動車ローンの金利低下などを追い風に好調さを保つた。

上半年(一~六月)の累計は約七二七万台。業界では下半期も「老朽化した車両の買い替え需要が続く」(フォード・モーター)とみて、通年で一、四〇〇万台、五〇〇万台と金融危機前の〇七年(約一、六一五万台)以来の水準まで戻るとの予想が多い。

六月の販売をメーカー別で見ると、トヨタ

増と、東日本大震災後の減産により昨年落ち込んだ反動で大幅増。米ゼネラル・モーターズ(GM)や日産自動車なども二ケタの伸び率となつた。六月の季節調整済みの年換算台数は一、四〇八万台と、二カ月ぶりに一、四〇〇万の大台を回復した。